

ごあいさつ

熊本博物館の屋外展示場でひととき大きな存在感を放っております蒸気機関車 69665 号機は、1923 年（大正 12 年）生まれで、昭和の時代には 30 年以上も豊肥本線を走っていた熊本にゆかりの深い貨物用車両です。1973 年（昭和 48 年）11 月に廃車して間もない翌年（1974 年）の 5 月、当館がこの三の丸地区に新築移転するよりも前にトレーラーに積まれて上熊本駅から運ばれて来ました。以来ずっとこの地に鎮座し、来館される多くの皆さまに親しまれ、愛されてきたところです。その機関車（愛称：くまはく S L）が、今年（令和 5 年）1 月に満 100 歳を迎えました。嬉しくもあり、誇らしくもあります。

そこで今回、くまはく S L の 100 歳を記念し、ささやかながら写真パネル展を企画いたしました。本展を開催するにあたりましては、現役時代の雄姿や廃車・展示後（現在に至るまで）の姿を記録した写真：「あの日 あのと き 思い出の一枚」をお持ちの方々にも写真データの提供を呼びかけ、それらもパネルにして展示をさせていただくことにしました。

本展をとおして、既に姿を消しつつあった蒸気機関車の実物展示を当館にて実現させようと尽力された当時の関係者の思いや願いの一端にふれるとともに、今後も「くまはく S L」をはじめ、貴重な資料や文化財を大切に守り伝えていこうとする意識高揚のための一助となれば幸いです。



熊本博物館

